

【一中】あけましておめでとうございます

本文:

あけましておめでとうございます。

登校時はみぞれ交じりの小雨も降る中、生徒たちはいつも以上に「おはようございます」と挨拶してくれました。3学期の終業式にポケットから手を出して挨拶する3年生のことを話していたので、その実践もしてくれていました。

始業式での校長の話の概要は以下の通りです。

『「小学校の体育館のガラスをキャッチボールしていて割った3人の生徒がいる。」と一昨日報告を受けました。その後に「ちゃんと自分たちで申し出て対応しているようです。」とのことでした。私からも謝罪するため、その小学校の校長先生にすぐにお電話したところ、3人生徒とその保護者さんの対応に感心されていました。「保護者さんがつてを頼って本校職員に連絡され、自分にも連絡をもらっていた。出勤して現場を確認したら段ボール等で塞がれ、雨風や小動物等が入らないように対応されていて驚いた。」と言われました。

人は必ず失敗するし、失敗したことがない人はいません。私も多くの失敗をしてきました。今回は失敗をそのままにせず、きちんとリカバリーすることで3人の生徒本人・保護者さんの信頼を高めただけでなく、一中生の信頼も高めてくれたのではないかと思います。3人の生徒・保護者さんのお陰です。

2学期の終業式にいつものように「死ぬな（生きろ）、自分を傷つけるな（自分を大切に）、人も傷つけるな（人も大切に）」と伝えていましたが、3人は失敗したときに逃げたりごまかしたりすることなくリカバリーすることで、自分を大切にすることが出来たと思います。もし逃げたりごまかしたりしていたら、人にばれなくても自分がしたことを自分は分かっている、これからずっとそのことが負い目になります。また、保護者にしてみれば、謝れない子どもにしか育っていない我が子を見るのはつらいことだと思います。（私の子どもが失敗を隠し逃げたのであれば、私は親としてどれほど辛いことかだと思います。）今回、保護者さんは3人を叱ってあったとしても、失敗を隠さず逃げなかった我が子の行動はうれしかったのではないかと思います。私たちはそういう家庭教育をしてもらっていることが本当に有難いと思います。3人のリカバリーは、保護者さんも傷つかなかったのだと思います。

チャレンジすれば必ず失敗します。何度失敗してもリカバリーすれば良いのです。チャレンジして成功すれば成長できます。恐れずチャレンジしましょう。』

以上です。